

交通死亡事故ゼロ二千日記念入賞作文

死亡事故二千日について

月瀧中学校一年 鷲尾美由紀

千日がとても早くすぎたよ  
うな気がします。まだ千日の  
時のことをよく覚えていた  
からです。

あれは、四年生のことです  
た。無事故千日ということ  
小学校のトラコパレードの  
後に歩いてついてきました。  
あのころは、二千日まで、無  
事故が続くといいなと思っ  
た。二千日までの間に事故が  
おこるのではないかと心配し  
ていました。

でも二千日という大きな夢  
が今、実現したので、とても  
うれしく思います。

今考えて見て、改めて、死  
亡事故ゼロ二千日達成する  
ことは、とても難しいことだ  
ということに気がつきました。  
みんなが事故をおこさない  
ように、気をつけなければな  
りません。例えば、道を歩く

事故死ゼロ二千日  
達成について思うこと

月瀧中学校二年 関根 鏡

月瀧村、事故死ゼロ二千日

達成、すごいことだと思いま  
す。月瀧村は、地図などで見  
ると、とても小さい所なのに  
なぜかとてもすばらしいこと  
ろで、大きくめだっています。

新潟市にある親戚に行く  
月瀧村にはデパートがない  
か田んぼしかないなどと言わ  
れますが、私が「事故死ゼロ  
千日達成したんだよ、二千日  
達成もめざしているんだよ」  
というとき、やはり、デパート

がある新瀧の親戚でも、かな  
いけません。二千日達成する  
まで、自分自身を付けようと  
思ったことがあったのですが  
すっかり忘れていて、車が来る  
のに、そのまま歩いて行って  
しまったりしたことが三、四  
回くらいありました。もし、  
ぶつかっていたらと考えると  
ぞっとします。常にこれから  
交通事故をおこさない、とび  
出しをしないように、頭の片  
すみでいいから、きちんと入

りておこうと思います。  
私は、交通事故の恐ろしさ  
というのは、ある程度しか知  
らず、本当の恐ろしさという  
ものはわかりません。私の知  
っている身の周りの人で、交  
通事故にあった人はいないか  
らです。幸いなことだと思  
う反面恐ろしさがわからない  
で自分自身が少し困ってしま  
うときがあります。けれど、  
交通事故というのを深く考え  
すぎて、自転車を乗れなくな  
ってしまったり、もし、車で  
行って、衝突したりしたら、  
などと、考えすぎて行動に移  
れなくなったりします。

自分自身そうゆう考えすぎ  
などは、自覚していますが、  
恐ろしいということだけは確  
かなので、あまり深く考えな  
いようにしようと思います。  
二千日達成というのは、月  
瀧村の人々みんなが、同じこ  
とを考え、そして交通事故を  
おこさないように、行動して

いたからだと思えます。  
一人ひとり考えることもち  
がう、行動することもちが  
う。人達が二千日達成とい  
うのは、理屈で言えば、どう  
して出来ないかと思っても  
いかにわかりません。  
一日一月瀧村の人々一人  
ひとりが、交通事故をおこさ  
ないように、常に考え、そし  
て行動していったらと思う  
いくらうがう年、知らなかつ  
た人、話しをしたことのない  
人でも、親しみがわいてくる  
ような気がします。改めてす  
ばらしいと思います。

事故死ゼロ二千日

月瀧中学校二年 中島 周正

月瀧村は五月七日で事故死  
ゼロ二千日達成する。

こんな小さな村なので死亡  
事故がそんなに度々あったら  
恐ろしいことかもしれない。

しかし、この二千日という  
数は、すごいと思う。二千日  
という数はこの県内にもない  
と思う。これは人通りの少な  
いのや、車があまり通らない  
というところも原因だが、やは  
り本当の原因は村民の心がけ  
にあると思う。これはとても  
自慢できることだと思ふ。

僕は、月瀧村に死亡事故が  
あったとき何となく信じられ  
なかった。こんな小さな村で  
も死亡事故は起るんだな  
〜とも思ってしまった。

事故死ゼロ千日達成の時、  
僕は小学生でパレードをした。  
その時グラウンドに集まった人  
々はみんなうれしそうだった。

運悪く事故にあった場合、  
よくて打撲やかすり傷、悪け  
れば重傷、もっと悪ければ命  
さえ落してしまうことだ  
ある。よく事故を起こして足  
を悪くして、車椅子に乗って

いる人がいるが、とてもかわ  
いそうだと思う。

僕の知っている人でそうい  
う人がいる。その人は交通事  
故ではないが、ケガをして足  
がマヒしてしまつて車椅子に  
乗っている。このような身体  
の不自由な人を見ると、今自  
分が健康であることを大切に  
しなければならぬと思う。

僕は、そっかしいところ  
があり、以前は何度も事故を  
起してしまつた。一番幼ない  
時の記憶では、三輪車に乗っ  
ていてバイクにはおられた事  
故だ。その時は、とてもこわ  
かった。又、自転車に乗って  
いてはねられそうになつた事  
もあつた。もうあの時のよう  
な恐怖感二度と味わいたく  
ない。そのためには、正しく  
交通ルールを守つていかなけ  
ればならない。

僕は他の学校の人と会議を  
した事がある。手始めに交  
通安全というテーマで話をす  
ることになった。そこで僕は  
この月瀧村のことを話した。  
もうすぐ死亡事故ゼロ二千日

という記録を達成すると話す  
と、他の学校の人は、  
「すごい〜」

月瀧村事故死ゼロ二千日達成

月瀧中学校三年 荻原 八重子

こんな小さな月瀧村が、事  
故死ゼロ二千日達成すること  
はすごいと思います。でも小  
さい村だからできると思うか  
もしれませんが、いくら小さ  
い村でも事故がたくさん起こ  
っている所があります。そう  
いうふうに見ると月瀧村は、  
すごいことを達成しようとし  
ているのだなあと感服します。

しかし、これを達成させる  
裏には、大変な苦労があると  
思います。たとえば、村の人  
たちが協力し合つて季節ごと  
に行つていた交通安全運動、  
多額な金額をかけてつくつた  
歩道、あといろいろな交通安  
全のための設備を村の人たち  
がつくり、そのために必要な  
ことを計画し、運営してくれ  
ました。その村の人たちの協  
力で二千日達成することは、  
今後の月瀧村の自信につなが  
っていくと思います。こんな  
小さな村でもやればできると  
いう自信に。

と云つてくれた。その時、  
僕はとてもうれしかった。

交通事故は最悪の病気だと  
私は思います。今色々な病  
病がありますが、だいたいの  
人がそのままの自分の体で死  
んでいきます。しかし、交通事  
故で死亡した場合、運が悪け  
れば、体がバラバラになつて  
しまうのです。そういう面  
で見ると月瀧村には最悪の病  
病が無いことを誇りに思わな  
くはなりません。こんなに素  
晴しい月瀧村に生まれて私は  
幸せです。

今都会のほうでは、毎日の  
ように交通事故が起つてい  
ます。毎日ではなく、毎時毎  
分毎秒のように。そして多く  
の人が命を落としているので  
す。信じられません。  
月瀧村では二千日も死亡事

交通死亡事故ゼロ二千日達成

月瀧中学校三年 高 権 利 枝

三年前の夏、事故死ゼロ千  
日達成の式典が行われてから

早いもので二千日達成する  
ことが出来ました。この三年